

砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

1 世界の砂糖需給（2025年3月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）

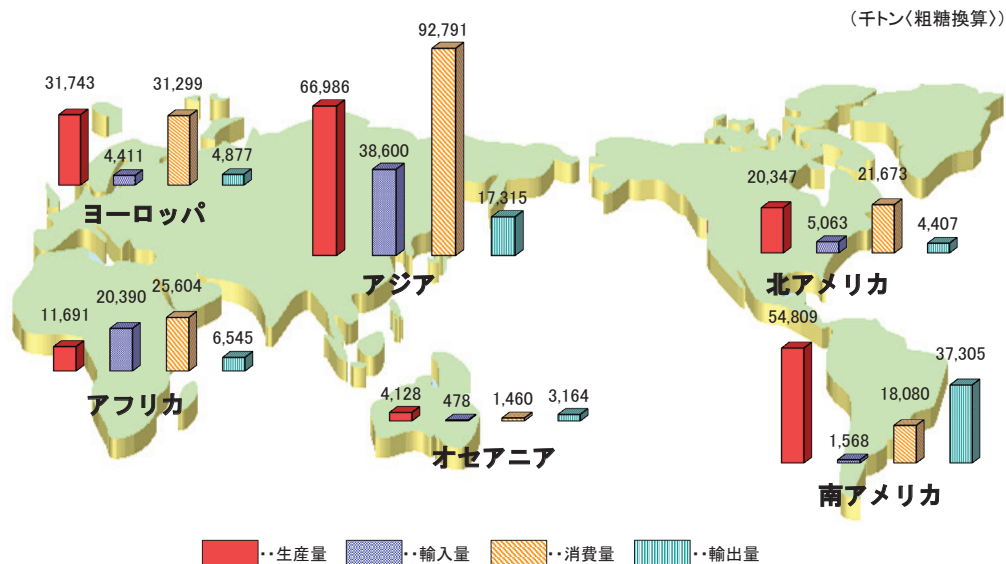


表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン 〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,748	116,773	31,659	112,814	32,490	50,876	45.1
1999/00	67,552	133,221	36,647	127,777	39,765	69,879	54.7
2004/05	70,855	144,263	47,191	146,617	50,893	64,799	44.2
2009/10	63,986	159,903	55,868	164,431	56,003	59,324	36.1
2014/15	75,556	183,661	60,956	176,956	62,498	80,720	45.6
2019/20	90,031	181,776	69,495	182,840	71,621	86,841	47.5
2020/21	86,841	181,965	66,801	185,409	67,987	82,211	44.3
2021/22	82,211	186,262	69,260	188,619	71,048	78,066	41.4
2022/23	78,066	190,615	70,823	190,856	71,081	77,566	40.6
2023/24	77,566	195,808	76,462	191,071	77,291	81,474	42.6
2024/25 (2025年3月予測)	81,474	189,705	70,510	190,908	73,612	77,169	40.4

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2025」
注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。
注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

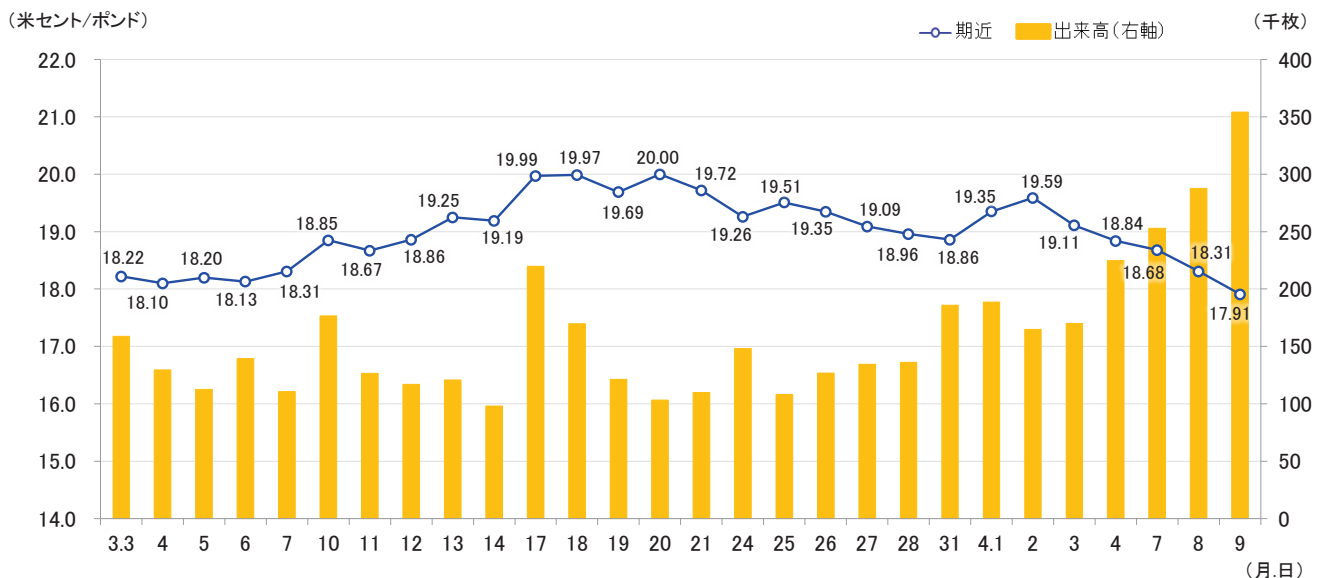
「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2025年7月号の掲載となります。直近の内容は2025年4月号をご参照ください。
「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003318.html
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003319.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（3/3～4/9）

～主産地での供給懸念などから20セントまで上昇するも、米国の相互関税導入や原油安で下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近5月限の値。

2025年3月のニューヨーク粗糖先物相場（5月^{がつ}限）の推移を見ると、3日は、砂糖トレーダーが3月限の期限に大規模な原料糖の引き渡しを行ったことから、1ポンド当たり18.22セント（注1）と前取引日からさらに下落した。4日以降はほぼ横ばいで推移し、10日はショートポジション（注2）をカバーするための買い戻しにより上昇し、同18.85セントをつけた。11日以降は、ブラジル中南部やインドの砂糖生産量の減産予測などから上昇を続け、20日は同20.00セントをつけた。21日以降は、ドル高（注3）やブラジルでの降雨などにより下落に転じ、31日は同18.86セントをつけた。

4月に入ると、1日以降はレアル高などにより上昇し、2日は同19.59セントをつけた。3日以降は、米国の相互関税導入の発表に伴う景気後退懸念からの原油安（注4）などにより下落し、9日は同17.91セントをつけた。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）将来の値下がり期待して売りの持ち高を取っている状態。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

（注4）一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要は減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年4月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：874万ha（前年度比1.6%減）

生産量：6億4250万トン（同5.2%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：4764万トン（同1.0%増）

輸出量：3636万トン（同0.3%減）

2025/26年度のサトウキビ生産量はやや減少を見込むも、砂糖生産量はわずかに増加

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、1月から3月の降水量が平均を下回ったことや圃場の更新により、874万ヘクタール（前年度比1.6%減）とわずかに減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、前年度に主産地の中南部地域で発生した干ばつや火災の影響を受け、6億4250万トン（同5.2%減）とやや減少が見込まれ

ている。

砂糖生産量は、サトウキビが減産見込みであるものの製糖企業がサトウキビの砂糖への仕向け割合を増加させるとの見通しから、4764万トン（同1.0%増）とわずかに増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出量減少が見込まれる中、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が期待され、3636万トン（同0.3%減）と前年度並みが見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

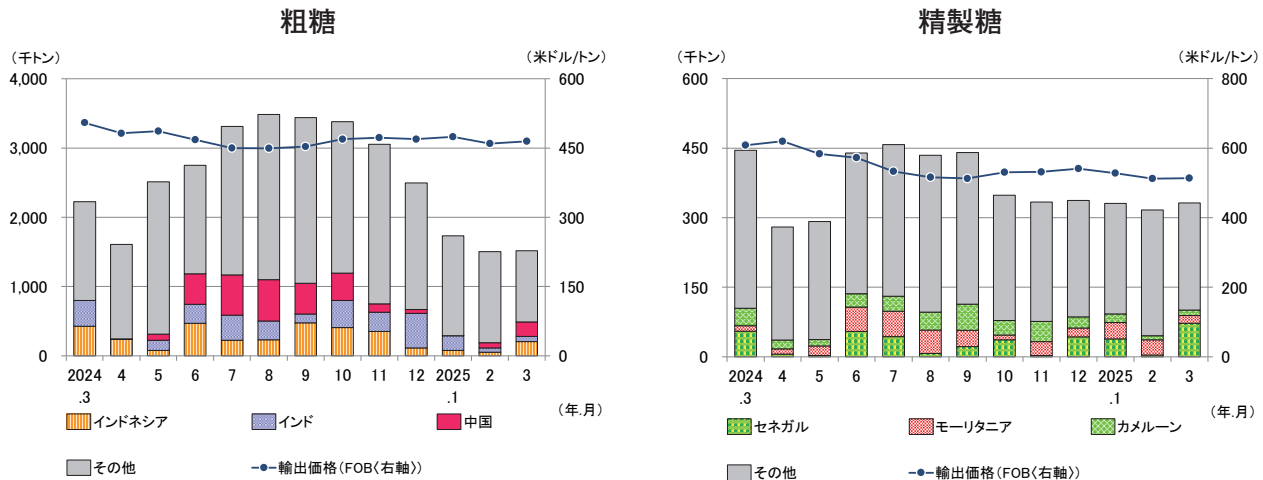
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (4月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		8,421	8,408	8,884	8,738	▲ 1.6%
サトウキビ生産量		606,676	713,134	677,500	642,500	▲ 5.2%
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,180	47,640	1.0%
	輸入量	2	5	4	4	22.2%
	消費量	10,928	10,965	10,800	10,864	0.6%
	輸出量	28,985	37,678	36,449	36,356	▲ 0.3%
	期末在庫量	1,945	2,627	2,561	2,986	16.6%
	期末在庫率	4.9	5.4	5.4	6.3	0.9ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2: 輸出量は、直近13カ月 (累計) の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 503万ha (前年度比9.3%減)

生産量: 3億9470万トン (同11.3%減)

【砂糖 (甘しや糖)】

生産量: 2795万トン (同19.4%減)

輸出量: 397万トン (同9.3%減)

2024/25年度の砂糖生産量は大幅に、輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、主産地で競合作物への転作などから503万ヘクタール (前年度比9.3%減) とかなりの程度減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病 (red rot) (注1) の影響により、3億9470万トン (同11.3%減) とかなり大きく減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産とエタノールへの転用により、2795万トン (同19.4%減) と大幅な減少が見込まれている。主産地のマハラシュトラ州では3月末時点で多くの製糖工場の操業が終了し、ウッタル・プラデーシュ州では57工場が操業を続けているが、両州での砂糖生産量は前年度を下回ると見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産

や輸出制限の継続により、397万トン (同9.3%減) と大幅に減少した前年度からさらにかかなりの程度の減少が見込まれている。インド政府は25年1月、国内余剰在庫の解消などを目的に100万トンの砂糖輸出を許可した (注2) ことで、輸出量は前月予測から上方修正された。現地報道によると、4月8日までに100万トンの輸出割当量のうち、28万7000トンがアフリカやアジア地域に輸出されている。

(注1) 真菌の感染によって引き起こされ、茎の内部の腐敗や褐変により、サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされる。

(注2) 詳細については、2025年1月24日付け海外情報「インド政府が100万トンの砂糖輸出を許可 (インド)」<https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004013.html>をご参照ください。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

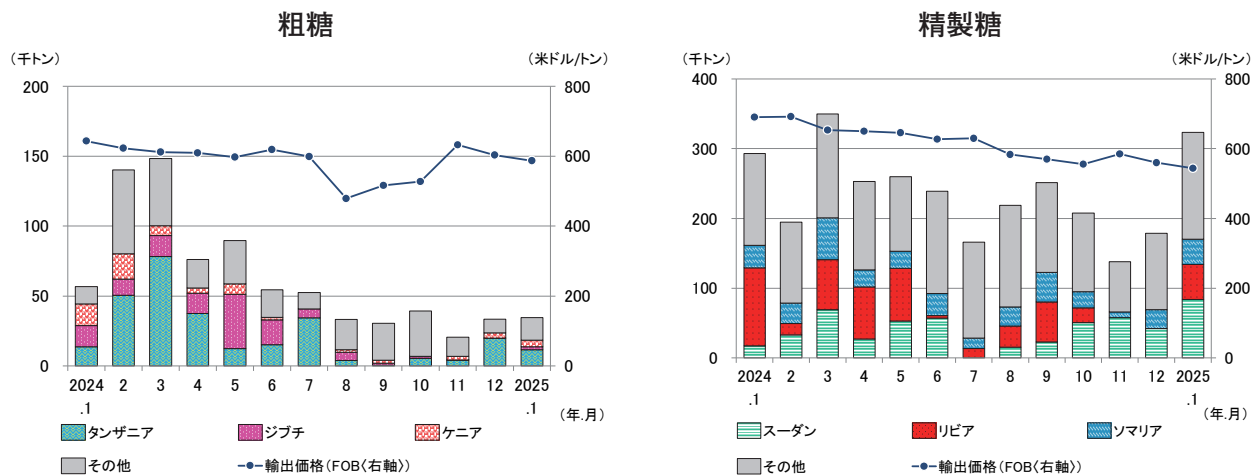
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (3月予測)	2024/25 (4月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,544	5,050	5,028	▲ 9.3%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,739	401,679	394,704	▲ 11.3%
砂糖	生産量	38,559	35,389	28,229	27,949	▲ 19.4%
	輸入量	427	1,687	2,510	2,679	▲ 14.4%
	消費量	29,516	30,078	30,877	30,456	▲ 1.4%
	輸出量	12,468	8,646	4,378	3,972	▲ 9.3%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,376	3,534	▲ 51.5%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.9	10.2	10.5ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

中国

2024/25年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha(前年度比9.0%増)

生産量：7166万トン(同2.0%減)

【てん菜】

収穫面積：22万ha(同30.6%増)

生産量：1350万トン(同43.9%増)

【砂糖(甘しや糖およびてん菜糖)】

生産量：1170万トン(同8.6%増)

輸入量：499万トン(同33.3%減)

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2024/25年度(10月～翌9月)のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール(前年度比9.0%増)とかなりの程度増加が見込まれている(表)。サト

ウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区での気温上昇と降雨不足が続いていることから、7166万トン(同2.0%減)とわずかに減少が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、生産者が需要や価格の優位

性により、大豆やトウモロコシなどの競合作物から転換したことで、22万ヘクタール（同30.6%増）と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積の増加と良好な生育状況により、1350万トン（同43.9%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖生産量は、原料作物の増産を背景に1170万

トン（同8.6%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入量が予想されているものの、国内の生産見通しが改善していることから、499万トン（同33.3%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

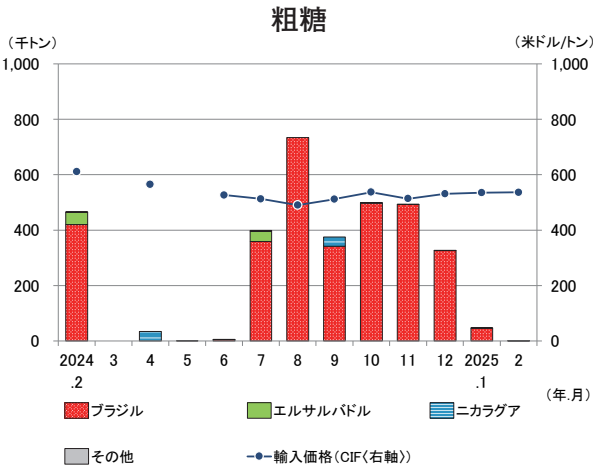
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (3月予測)	2024/25 (4月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,119	1,102	1,083	1,180	1,180	9.0%
サトウキビ生産量	72,136	62,595	73,132	73,322	71,662	▲ 2.0%
てん菜収穫面積	144	182	167	216	218	30.6%
てん菜生産量	7,070	8,719	9,377	12,187	13,498	43.9%
砂糖	生産量	10,334	9,698	11,403	11,698	8.6%
	輸入量	6,971	5,886	5,290	4,985	▲ 33.3%
	消費量	16,632	16,578	16,740	17,064	1.9%
	輸出量	172	201	179	164	▲ 7.1%
	期末在庫量	15,358	14,164	15,493	14,958	▲ 3.5%
	期末在庫率	91.4	84.4	91.6	86.8	4.8ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



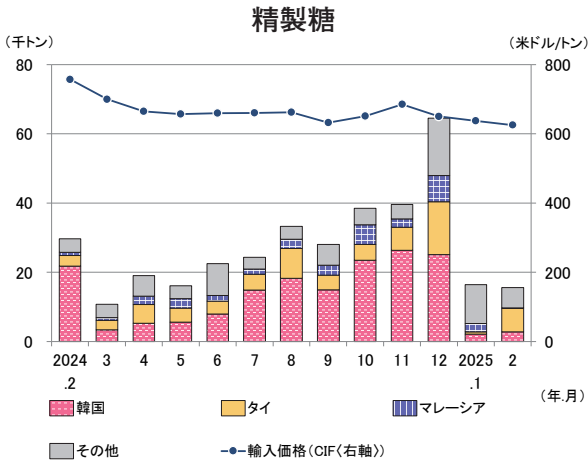
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2024年3月の粗糖輸入は、実績なし。

注4：2024年5月の粗糖輸入量は、千トン未満。



4 日本の主要輸入先の動向（2025年3月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.0%増）

生産量：2940万トン（同5.8%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：400万トン（同6.0%増）

輸出量：300万トン（同7.8%増）

2025/26年度の砂糖生産量と輸出量はかなりの程度増加する見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.0%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力が確保され、前年度と比較してより生育に適した季節的条件が整うとの見通しから、2940万トン（同5.8%増）とやや増加が見込まれている。しかし、25年1月末以降にサトウキビ生産の9割を占めるクイーンズランド州では豪雨による洪水が発生しており、年間約450万トンのサトウキビが収穫される同州ハーバート地域では、最大100万トンのサトウキビの収穫機会が喪失したと推定されている（注）。洪水被害の影響はサトウキビの収穫開始までは十分に把握できないとされており、また、サトウキビが新植される場合には十分なサトウキビ

の成長期間を確保するために、25/26年の収穫が12月の収穫期の終了間際まで続く可能性が高いと見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産などにより、400万トン（同6.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、300万トン（同7.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

（注）クイーンズランド州の洪水被害の詳細については、2025年2月14日付け海外情報「主産地での洪水によりサトウキビ生産に大きな被害（豪州）」＜https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004033.html＞、3月12日付け海外情報「豪州、砂糖の中期の見通しと洪水被害の状況（豪州）」＜https://alic.go.jp/chosa-c/joho01_004056.html＞、3月26日付け海外情報「洪水被害を受けたサトウキビ生産者に対し、追加支援を決定（豪州）」＜https://alic.go.jp/chosa-c/joho01_004071.html＞をご参照ください。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （4月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		331	341	345	345	0.0%
サトウキビ生産量		32,593	29,274	27,780	29,400	5.8%
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,779	4,004	6.0%
	輸入量	8	10	9	9	5.8%
	消費量	996	995	1,005	1,014	0.9%
	輸出量	2,942	3,356	2,782	2,999	7.8%
	期末在庫量	1,180	967	967	967	▲ 0.0%
期末在庫率		30.0	22.2	25.5	24.1	1.4ポイント減

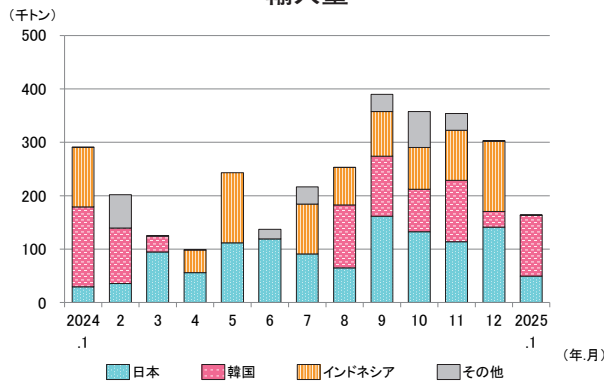
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

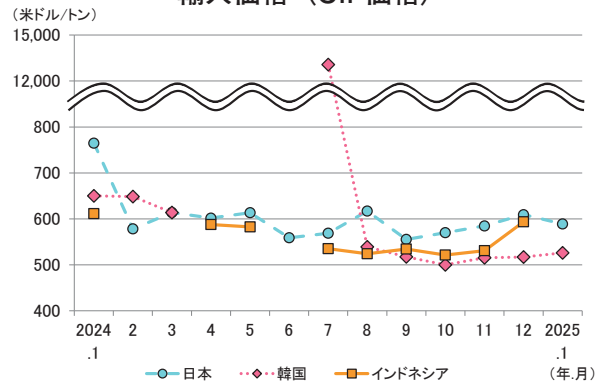
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

注5：インドネシアの2024年2月、3月、6月、25年1月の輸入量は実績なし。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）

生産量：9210万トン（同12.1%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：1057万トン（同13.5%増）

輸出量：778万トン（同32.1%増）

2024/25年度の砂糖生産量はかなり大きく、輸出量は大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件により、9210万トン（同12.1%増）とかなり大きな増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS^(注)の増加により、1057万トン（同13.5%増）とかなり大きく増加することが見込まれている。砂糖輸出量は、

インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に778万トン（同32.1%増）と大幅な増加が見込まれている。特にタイの主要輸出先であるインドネシアでは、ラマダン（断食月：25年は2月28日から3月29日まで）に先立ち国内の砂糖価格が上昇したことから、砂糖輸入量が増加した。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

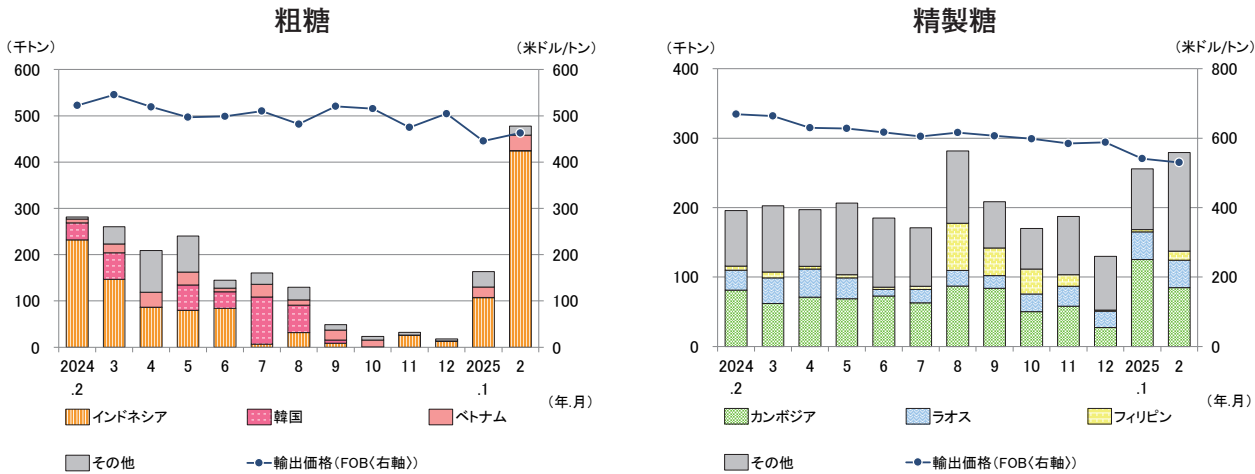
年度		2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (3月予測)	2024/25 (4月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量		91,145	93,888	82,167	93,000	92,100	12.1%
砂糖	生産量	10,643	11,688	9,315	11,094	10,574	13.5%
	輸入量	148	317	249	375	425	71.0%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,888	8,143	7,776	32.1%
	期末在庫量	1,951	2,605	3,095	3,174	3,099	0.1%
	期末在庫率	17.3	23.0	34.1	27.9	28.2	5.9ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, April 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。